

1 / 2

[illegible]

八重山安里屋ユンタ

本調子

2/2

一、（さー）安里屋のクヤマによ（サー
ユイユイ）あん美らさ生りばし（よ
ー）（またはーりぬちんだらかぬし
やまよ）

あさどやぬくやまに あんちゆらさ
まりばし

幼しやからあふあり生りばし 小
さから白さ産でばし

いみしやから あふありまりばし
くゆさからしるさしいでいばし

三、何故でから否です 如何でから嫌
です

なゆでいから んぱです いかで
から ゆむです

後のこと思いと すらの為考やど

あとうぬくとう うむいどう すら
ぬたみかんがやどう

二、目差主の乞よたら あたりよ親の望
みよた

みざしいしゆぬくゆたら あたりよ
やぬぬずみよた

目差主や 我な否 あたりよ親やく
りや嫌

みざしいしゆやばなんぱ あたりよ
ややくりやゆむ

四、島の夫持ちやばど 後の為あるです

すまぬぶどうむちやばどう あとう
ぬたみ あるです

後の為あらでさ それの為いくでさ

あとうぬたみあらでさ すらぬたみ
いくでさ

○クヤマ 1722年～1799年
。竹富島の絶世の美女。
○目差主「琉球時代の役職名。与人
（村長）の下役

五、一 安里屋（という屋号）のクヤマ

に あのように美しく生まれて

二 幼いころから美しく生まれて

小さいときから白く生まれて

三 目差主が乞うたら 役人が望ん

だ

四 目差主は私は嫌 役人は私は嫌

六、五 何故嫌なのです 如何に嫌です

六 将来のことを思つてこそ 身空

の為を考えてこそ

七 島の夫を持てばこそ 将来のた

めなのです

八 将来の為なのですよ その為な
のですよ